

「全鍍連」 2018年8月号 いきいき地域

大阪府鍍金工業組合 上田 泰久 (旭鍍金工業株式会社 代表取締役)

「渡航先ランキング」



最近では、大阪で電車に乗ると日本語以外の言葉が聞こえてくるのが珍しくなくなって参りました。私の子供の頃は観光地に行った時に外国人を数人見かける程度だったと思いますが、近年は状況が大きく変わってきました。大阪に外国人が増えてきた事を裏付けるデータがクレジットカード運営の米マスターカードが昨年9月末に発表した「2017年度世界渡航先ランキング」で大阪が渡航者数の成長率を比較する「急成長渡航先ランキング」で大阪が1位に輝きました。アジア勢が上位を占める中、東京や中国、韓国などの各都市を抑えての快挙だそうです。急激に増加しているのは関西国際空港を発着する格安航空会社（LCC）の増便や円安傾向が追い風となり、中国、韓国を中心とする東アジア各国で、依然として高い人気が続いています。それ以外にも外国人に満足してもらうため、Wi-Fi（無線LAN）の提供、案内標識の設置、店舗の多言語対応などへの取り組みを、積極的にしています。最近では、ナイトエンターテインメントの展開などで消費の時間軸を伸ばし、楽しむ選択肢を増やすなど様々な活動が受け入れられ滞在のしやすい町、居心地の良い町として旅行滞在先に選ばれる方が増加しています。

大阪には梅田・大阪駅を中心とするキタと難波や心斎橋界限を中心とするミナミがありますが、ミナミが今、異様な熱気に包まれています。中国人や韓国人を中心とするアジアからの訪日客で、連日大混雑しています。特定の日だけではなく連日、朝から深夜まで人であふれており、祭りのような賑わいを見せています。外国人にキタよりミナミの方が人気なのは、ミナミの方が買い物や食事をする店が狭いエリアに集まっており、訪日客は効率良く観光を楽しむことができる。ミナミに対してキタはミナミほど集まっておらず、施設間の移動も地下街を使うことが多いので、訪日客が迷ってしまうケースが多いからと分析されています。

百貨店等は訪日客の急増を好機ととらえ、百貨店は需要の取り込みに力を注いでいます。大阪に店を構える百貨店の売上高は今年1月から10月まで10カ月連続で前年同月を上回った。浮き沈みを繰り返す東京の百貨店とは対照的な結果となっています。「大阪流の人情味があり、温かみがある接客サービスが、アジア人にとって心地よいのでは」との見方を百貨店業界関係者はされています。

訪日客が急増している大阪、街の変化と活気をぜひ一度体験しにいらしてください。